

ご使用にあたっては

●ラベルをよく読んでください。●記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋等は圃場に放置せず適切に処理してください。

水稲刈取り跡、駐車場・宅地まわりなどの雑草退治に！

# クローレートS 粒剤

包装 5kg × 4袋

有効成分：塩素酸ナトリウム…………… 50.0%  
 性状：類白色粒剤  
 毒性：劇物  
 魚毒性：A類相当  
 危険物：第一類・塩素酸塩類含有物・第二種(300kg)

特長

枯殺力の強い非選択性の除草剤で、一年生雑草はもちろん  
**防除困難なササ、タケ、ススキなども**  
 枯らします。

適用雑草と使用方法

作物名	使用目的 適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	塩素酸塩を含む 農薬の総使用回数
樹木等	公園、堤とう、 駐車場、道路、 運動場、宅地、 のり面等	一年生及び 多年生雑草	雑草生育 初期～中期	15～25kg/10a	3回以内	植栽地を除く樹 木等の周辺地に 雑草茎葉散布	3回以内 全面土壌散布は1 回以内、但し当該 処理をする場合に は雑草茎葉散布は 1回以内
		竹類	生育期	45～60kg/10a	1回	植栽地を除く樹 木等の周辺地に 全面土壌散布	
開墾後に栽培 する農作物等	開墾地	一年生及び多年 生雑草 雑草かん木 ササ類 ススキ	雑草生育期 積雪時及び土壌 凍結時を除く	15～25kg/10a	2回以内	全面均一散布	—
すぎ ひのき まつ からまつ えぞまつ とどまつ ぶな かんば	地ごしらえ					空中散布	
	下刈り					全面均一散布	
3回以内						空中散布	
すぎ ひのき まつ からまつ えぞまつ とどまつ	地ごしらえ 又は 下刈り	ススキ	雑草生育期 (草丈20cm以下)	30g/株経20cm 60g/株経30cm 85g/株経40cm	1回	株処理	—

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	適用地帯	塩素酸塩を含む 農薬の総使用回数
水稲 (水稲刈取り跡)	一年生雑草 多年生イネ科雑草	水稲刈取り後 (秋期雑草生育期)	全土壌	20～25kg /10a	1回	水稲刈取り跡に 全面土壌散布	東北以南	—

注意事項

- 降雨時の散布または降雨の予想される時の散布は、効果を減らすので散布を避けてください。
- 公園、堤とう、駐車場、宅地まわりなどに使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に影響を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が樹木等の植栽地に流入または飛散するおそれのある場所等では使用しないでください。また、樹木等有用植物の根が分布していると思われるところでは使用を避けてください。
- 水源池、飲料水等に本剤が飛散・流入しないように十分注意してください。
- 本剤は家畜が好んで食べて中毒を起こすことがあるので保管に注意し、また使用直後の使用区域への家畜の放飼は行わないでください。
- 本剤はリン、イオウ、アンモニア塩類およびアンモニア性肥料、ガンリン・灯油等の油類、強酸性物質、木・繊維類のような可燃物との混合は危険なので、同一保管をさせていただきます。
- 盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。
- 火気はさけ、食品と区別して、直射日光の当たらない鍵のかかる低温で乾燥した場所に密閉して保管してください。

〈販売〉丸善薬品産業株式会社

東京アグリ事業部 東京都千代田区鍛冶町2-9-12(神田徳カビル) 03(3256)5561  
 札幌グループ 札幌市中央区大通西8-2-38(ストーク大通ビル) 011(261)9024  
 大阪アグリ事業部 大阪市中央区道修町2-4-7 06(6206)5531  
 仙台グループ 仙台市青葉区大町1-1-8(第3青葉ビル) 022(222)2790  
 福岡アグリ事業部 福岡市博多区奈良屋町14-18 092(281)6650  
 名古屋グループ 名古屋市西区那古野1-1-7 052(561)0132

水稲刈取り跡・緑地管理用除草剤

農林水産省登録 第11912号

# クローレートS 粒剤

除草剤

竹類に  
適用拡大

タケもササも枯らします!

●手軽でカンタンな粒剤タイプ!

使用量

竹類

45～60kg / 10a  
\*生育期、1回

ササ類

10～25kg / 10a  
\*生育期、2回  
\*使用目的、適用場所により使用量が異なります。

※詳細については最終頁・ラベル等をご覧ください。

タケとササの違いを知ってますか? タケとササは次の様な違いがあります。

	皮の落ち方	稈から出ている枝の数
タケ	タケノコからタケへの伸長途上で落下、成竹となった時点では一枚の皮もついていない。	2本以上
ササ	成長完了し、寿命で枯れるまで皮が落ちない。	1本

上手に使って **タケ** 退治!

株式会社 **イス・デー・イス バイオテック**

# タケ 防除のポイント

## 春 タケノコ(筍)の発生時が最も効果的!

タケの地下茎から水分吸収量(モウソウチクの場合)が非常に多い時期

**タケノコ発生時**  
20リットル/本/日



**通常時**  
4リットル/本/日

水分と一緒に薬剤を大量に吸収。**特にタケノコ自体が小さい時期は**植物体に対する薬剤吸収量が膨大になるため、**効果が高く、発現も早くなります。**地下茎が伸長する前にタケを枯らす、もしくは葉を落としてしまえば、**地下茎の生育もストップ!**

## 秋 翌春の発生を抑制します。

芽子(タケノコになる部分)形成と肥大生長を抑制します。

\* 水分吸収量が少なくタケも大きいため、タケ自体に対する効果の発現は緩やかになります。また、タケの大きさ、散布時期によっては翌春の散布が必要となる場合があります。

## 注意 夏季の処理について

夏季は降雨が少なく土壌が乾燥しがちなため、散布した粒剤の崩壊、土壌への浸透が進みません。

▶ 薬剤の吸収が進まず、効果が劣る可能性があります。散布は避けましょう。

**【散布時期の例】** タケの種類、生育地域やその年の気候によってタケノコの発生時期は異なります。ご注意ください。

タケの種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
モウソウチクの場合	芽子の成長期(地中)		タケノコの発生時期		地下茎の伸長時期				秋の処理時期		芽子の成長期(地中)	
	← 処理最適期 →								← 秋の処理時期 →			
マダケの場合	芽子の成長期(地中)			タケノコの発生時期		地下茎の伸長時期			秋の処理時期		芽子の成長期(地中)	
	← 処理最適期 →								← 秋の処理時期 →			

※1: タケの生態については内村悦三氏資料より引用

※2: 薬剤処理時期については(株)エス・ディ・エス バイオテック社推奨時期

効果が高く、発現も早い!  
地下茎を伸長させない!

**春季処理が最適です!**

## ● 主要なタケの例



モウソウチク ※3



モウソウチク&タケノコ ※3



マダケ ※3



ハチク ※3

## 上手な使い方

### 1 タケの種類を判別

・タケの種類によってタケノコの発生時期は異なります。  
→ 毎年の発生時期を確認し、散布適期に散布しましょう。

**春のタケノコの発生時期の散布が最も効果的です。**

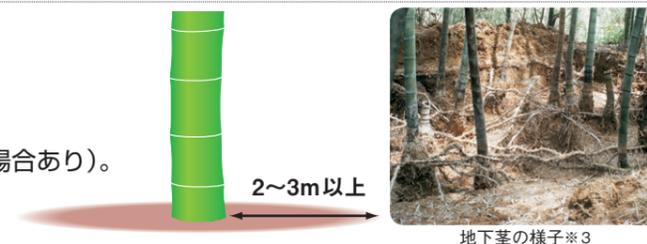
- タケノコが大きくなる前に散布しましょう。
- 植栽地では使用できません。
- 薬剤処理された場所から発生したタケノコは食べないで下さい。

### 2 散布表面の堆積物(枯葉)を除去

・出来る限り土壌表面の堆積物(枯葉等)を除去し、薬剤が土壌中に浸透しやすくすることが重要です。

### 3 薬剤は根元だけでなく、周辺までできる限り広く散布

・タケの地下茎は地中で広く分布(数十メートルになる場合あり)。  
→ 地上部が枯れても、地下茎は生き残っています。



地下茎の様子※3

### 4 急斜面での散布は避ける

・作業が困難だけでなく、薬剤の流亡の恐れがあります。急斜面での散布は避けて下さい。

### 5 効果の発現には時間と適度の土壌水分が必要

・効果の発現(葉が枯れ始める)には1~2ヶ月程度、効果の完成(稈が黒色・茶色に変色)には3ヶ月以上を要することもあります。  
→ 小さい「タケノコ」の時期が最も早く効果が発現します。  
・粒の崩壊、土壌中への速やかな浸透のため、土壌には適度の水分が必要です。

### 6 周辺の有用植物には飛散することのないように注意

### 7 タケは立ち枯れすると、倒れやすくなるので注意

・枯れたタケは大風・台風や積雪などで倒れやすくなっています。また、燃えやすくなっていますので、枯れたタケは早めに処分することを心がけてください。

## ● 主要なササの例



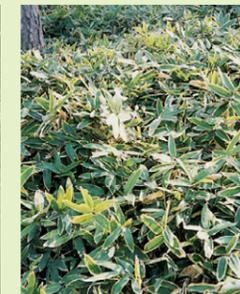
メダケ



ヤダケ ※3



チマキザサ ※3



クマザサ ※3



ネザサ

※3: 写真提供 内村悦三氏